

巡回訪問トピックス 2号

令和4年1月発行



巡回訪問の際には、様々なお話を聞かせていただきありがとうございました。今回『巡回訪問トピックス2』では、園内研修の取組について、訪問先で伺った情報をご紹介します。

★子どもの人権



・「早くして！」は誰のため？

子どもに「早くして」と言ってしまうことがあります。なぜそのような言葉を言ってしまうのか、どうして早くしてほしいのか、自分の気持ちに気付くことが大事だと考えています。「保育の事前準備ができていない？」「保育者が足りない？」「言い換えてみたら？」など、研修で話し合っています。「気付き」によって、自らを変えていく第一歩にしています。

・継続の大切さ



子どもの人権に関するチェックリストによるセルフチェックを定期的に園内でを行い、人権意識を高める研修に生かしています。計画し、実施して振り返りをする、その継続が大事だと思っています。

・子どもの人権に関する図書

園で子どもの人権に関する図書を購入し、テキストとして用いて人権意識を高めました。共通したものを使用することで、ポイントがわかりやすく、お互いに声を掛け合う等、保育の現場でも生かすことができていると思います。

・保育者の言葉やしぐさ

保育者の一言、しぐさや目線について、子どもがどのように受け止めているか、その気持ちを感じるために、職員間でロールプレイを行い、感じた事を振り返っています。子どもの身になって体験することで、言葉の選び方、声のトーンや子どもに対する保育者の援助の仕方（かかわり方）の大切さに気づかされます。この学び合いで、人権意識の向上に役立っています。



★保育室の安全の見直し



日々忙しい保育業務の中では、物の置きっぱなしがあり、「後で」「つい」となってしまう。保育室内の整理整頓は、事故防止につながります。園内研修で、他クラスの保育室を見て、気付いたことを伝え、より安全な保育環境を目指しています。

★情報共有のシミュレーション

情報共有が大事なことは皆わかっているところですが、情報が行き渡らないことがあります。伝えられていない人にとっては、「私は、知らなかった」「知らなくてもいいんだ」「聞いていないからわかりません」となってしまうこともあります。

どのようにすれば情報が園全体で共有できるか、伝達のシミュレーションや、皆で話し合う際に一人ひとりの声を生かすことで、情報共有を円滑にする工夫を行っています。



★アクションカード

災害時のマニュアルはありますが、すぐに行動できるように、「アクションカード」を作成しています。役割毎に作られ、やるべきことが時系列で書かれているので、漏れがなく慌てることなく避難行動がとれます。ラミネート加工にしておくと、持ち運びにも便利です。（その他にも、プールや散歩時の事故対応などに活用している園・施設もありました。）

※「巡回訪問つうしん」バックナンバー掲載先 URL
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/shisetsu/info/yoko/youshikiany.html>
横浜市トップページ>暮らし・総合>子育て・教育>保育・幼児教育>保育所・保育施設>保育所に関する情報>要綱・様式>給付対象施設・事業 要綱・様式



こども青少年局 保育・教育運営課
連絡先 045-671-3564